



佐世保市立楠栖小学校



か 考え抜く子ども
が がんばり抜く子ども
や やわらかな心の子ども
き 郷土を愛する子ども

所在地 佐世保市小佐々町楠泊 526 番地

校 長 春田 優洋

児童数 1 4 6 名 学級数 6 学級

1 目 的

小中一貫型コミュニティ・スクールの推進及び地域教育力を活用した教育活動の充実

2 実践内容

<地域人材・関係団体との交流活動>



磯あそび（1年）



野菜づくり（2年）



造船所学習（3年）



アマモの育苗（4年）



お茶淹れ体験（5年）



魚さばき体験（6年）

＜小中連携・PTA との連携＞



中学校「乗り入れ授業」
（6年）



おさかなあいさつ運動
（かがやきっ子会議）



子どもの笑顔と元気のために PTA 主催「逃走中」

3 成 果

- 郷土を愛する子どもを育てることを目標に、「地域のことを」「地域と一緒に」「地域で学ぶ」実践を、今年度も地域学習カリキュラム一覧表に沿って全学年で展開した。コロナ禍の中、地域教材や地域人材を可能な限り活用し、本校独自の特色ある教育活動を展開することができた。

児童は地域のひと・もの・こととの関わりや体験活動を通して、地域のよさを実感している。また、体験的学習活動を通して、多くの地域人材やボランティアスタッフとの交流も深めている。

【全校】放課後補充学習 PTA「逃走中」

【1年】磯遊び 芋栽培

【2年】芋栽培 野菜作り 町たんけん

【3年】真珠の養殖 造船所学習

【4年】海の環境学習 水産教室

【5年】エコ生活学習 ウエストテクノ工場見学 保育所への学校紹介

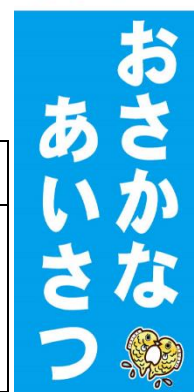
【6年】水産教室 おさかな教室

【R1 地域人材との関わり】

- 小佐々地区3校で構成される「海光る町学園」の今年度の重点実践事項の一つとして、「おさかなあいさつ」を掲げ取り組んできた。保護者、地域への啓発と児童や職員の意識高揚を図り、6年児童が学校入口で挨拶運動を展開し、5年生へと引き継いでいく体制もできた。



地域 みんなで



アンケート内容	本校	全国	差
近所の人に会ったときは、あいさつをしていますか。	95.1	81.0	+14.1

【R2 i-check より】

小佐々地区小中一貫
コミュニティ・スクール

- 令和元年度から小中一貫教育（乗り入れ授業）に積極的に取り組んできた。今年度は後期からの取組となったが、英語と算数を毎月1回開催した。児童は、中学校生活への不安が取り除かれるとともに、中学校入学に

向けての期待が膨らんでいった。

アンケート内容	地域	保護者
海光る町学園は、小学校と中学校の交流活動や乗り入れ授業を通して小学校と中学校のつながりを深めている。（４段階評価）	-	３．３
	教職員	児童
	３．０	３．１

【Ｒ２ 学園評価より】

- 校内研究は算数科３年目。全学年で学習習慣・学習規律を基盤として学力向上に取り組む「楠っ子スタイル」を確立し、全校で統一した指導を行うことができた。

子どもの学びに向かう姿勢や学習意欲に高まりが見られ、特に算数の学力が向上した。今までの取組を継続し、更に深化させていくことを、全職員で共有した。

- ①楠っ子の筆箱・道具箱の約束
- ②家庭学習（宿題・自主学習）の手引き
- ③算数ノートのつくり方
- ④筆算の仕方
- ⑤文章問題の解き方
- ⑥説明の仕方

【楠っ子スタイルの内容】

４ おわりに

今年度も小中一貫型コミュニティ・スクール「海光る町学園」として、昨年度まで取り組んできた「地域学習カリキュラム」を、地域と協働して取り組んできた。加えて、小中連携を深め、乗り入れ授業の充実を図ることができた。

海光る町学園運営協議会での協議を年間４回設け、地域人材の拡充について連携ができた。次年度も小中一貫型コミュニティ・スクールの推進及び地域教育力を活用した教育活動の充実を図るために、さらに地域・保護者とともにある学校づくりに取り組んでいく。